

過去の東区での意見交換をきっかけに、こんな取り組みが始まりました

意見交換の内容	市の取り組み
おむつ用ごみ袋について、利用者がサイズや量を選べるチケット制にしてはどうか。	2歳未満の乳幼児がいる世帯に支給する家庭用指定ごみ袋の大きさが、10リットル用か20リットル用いずれかのサイズを選択できるようにしました。
障がいがありますが、職員の説明が早口で分かりません。	区役所の職員を対象とした研修の学習内容に、障がいのある方に配慮した説明方法を取り入れました。



子どもの教育・子育てについて

通学路が狭く危険。道路幅を広くしてほしい

札幌開成高校 **太内田さん**

自転車通学をしています。道路が狭く、登下校時、小学生とぶつかりそうになり危険なので、道路幅を広くしてほしいです。



子どもの権利が失われてきているのではないかと

よこやま **横山さん**

子どもの権利条例の中に、安心して生きる権利、参加する権利などがありますが、それらが失われてきているのではないのでしょうか。



市長から

時間帯によって、歩行者優先、自転車優先など、道路をどのように使うか考えなければならないと思います。地域の方の利便も考え、警察や市などと生徒会でよく話し合うことが必要です。

市長から

子どもの権利と書いてありますが、実は大人の義務なのです。大人が子どもの権利に着目した姿勢を持たなければならないという、私たち大人に対する規範だと思います。

小中学校の空き教室を有効活用するべき

いうち **井内さん**

小中学校の空き教室を学習支援企業やボランティアに開放し、子どもたちに、学習をより楽しく感じてもらう場にできませんか。



空き教室を地域のふれあいサロンに活用を

うえの **上野さん**

高齢者のための「ふれあいサロン」を小学校の空き教室で開催しては。休み時間に高齢者と子どもとの交流もできます。

市長から

ミニ児童会館にするなど放課後の学校活用のため努力しています。地域の中心にある学校で、ボランティアの方々に協力いただいで多様な活動ができるよう、議論しているところです。



子育てサロンやふれあいサロンが開催できると、とてもいい世代間交流ができます。地域の連携をつくっていく場に教室が活用されるよう、教育委員会や関係部局に提案していきます。

